

庄内町合併20周年記念事業 **第63回 山形県民芸術祭**
第21回 庄内町芸術祭 開幕記念公演

令和7年 **9/7(日) ▶ 11/30(日)** **入場無料**

庄内町文化創造館「**響ホール**」

庄内町余目字仲谷地280 tel.0234-45-1433

狩川まちづくりセンター

庄内町狩川字大釜11-1 tel.0234-56-3308

「あま
天つ風」かぜ
龍神伝説へのいざない
蘇りを司る月山からの風を受け、先人が遺した伝統を
世代間で共有し、新しい文化として継承していく。



芸術祭開幕記念事業 第63回山形県民芸術祭

開幕記念式典・記念公演

9/7(日) 10:00 響ホール

主催：山形県 / (公財) 山形県生涯学習文化財団 / 山形県芸術文化協会 / 庄内町芸術祭実行委員会 / 庄内町

共催：庄内町教育委員会・庄内町芸術文化協会

後援：朝日新聞社山形総局 / 河北新報社 / 産経新聞山形支局 / 毎日新聞山形支局 / 山形新聞・山形放送 / 読売新聞山形支局
NHK山形放送局 / 山形テレビ / テレビユー山形 / さくらんぼテレビ / 余目ライオンズクラブ / 余目ロータリークラブ

協賛：令和7年度県民芸術祭



山形県知事
吉村美栄子

山形県民の文化の祭典として、本県文化の振興に大きな役割を果たしてきた県民芸術祭が63回目を迎えました。これも県内各地で活動する文化芸術団体並びに山形県芸術文化協会をはじめ関係各位の長年の御尽力の賜物であり、深く敬意を表します。

今年度は、開幕記念式典・記念公演『『天つ風』龍神伝説へのいざない』を皮切りに、5か月の間、県内各地で多彩な催しが展開されます。優れた展示・発表会には「県民芸術祭賞」を贈るという、全国的にも珍しいコンペティション方式により、多数の展示や発表会が分野を越えて競い合う、山形の誇るべき芸術文化の祭典であります。加えて各市町村においても芸術祭が開催され、文化芸術団体の皆様にとっては日ごろの活動成果を披露する場であり、また、県民の皆様は多彩な文化芸術を楽しむ絶好の機会となります。

この県民芸術祭を契機として、県民の皆様が文化芸術に親しみ、感動を共有することで、新たな文化が創造され、地域の活力向上が図られることを期待しております。

県におきましては、「山形県文化基本条例」に基づき、本県の文化に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「未来につなぐ、広がる、やまがたの文化」を副題として、「第2期山形県文化推進基本計画」を策定しております。

今後も本県の文化のさらなる発展に向け、文化の多様な力を、人づくり、社会づくりに活かし、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に引き続き取り組んでまいりますので、皆様からなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この開幕記念公演のために御尽力いただきました庄内町、庄内町芸術文化協会をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、第63回県民芸術祭の御盛會を祈念申し上げ、挨拶いたします。



庄内町長
富樫 透

令和7年度山形県民芸術祭及び庄内町芸術祭の開幕を心からお喜び申し上げます。

庄内町合併20周年という記念すべき年に、平成20年以来17年ぶりとなる本町での県民芸術祭の開幕をかくも盛大に迎えられることに感謝申し上げますとともに、県内各地からお越しいただいた大勢の皆様を町民とともに心から歓迎いたします。

県民芸術祭は、県民一人ひとりが文化芸術に親しみ、創造の喜びを分かち合うとても意義深いものであります。第63回を数える歴史ある芸術祭の開幕にふたたび庄内町の地を選んでいたことは、私たちにとって大きな喜びであり、また、地域文化の発展への新たな契機であると感じております。

この17年間、本町におきましても町民主導の文化芸術の発表や、鑑賞機会の充実を目指して活動が続けられております。開幕記念式典の会場である庄内町文化創造館「響ホール」は指定管理委託され、施設の管理運営のみならず、指定管理者による自主事業や支援事業の実施、また文化芸術団体の育成事業の実施など、文化芸術が身近にある機会の提供と環境整備に努めてまいりました。

そうした中で開催される今年の芸術祭は、『『天つ風』龍神伝説へのいざない』をテーマに、蘇りを司る月山からの風を受け、先人が遺した伝統を世代間で共有し、新しい文化として継承していこうという願いを込めて開催しております。霊峰月山、平成の名水百選「立谷沢川」、山形県民の母なる川「最上川」、そして美しく広がる庄内平野と、豊かな自然や風土にあふれる庄内町で開催されるこの芸術祭が、それらの歩みを結実させる場となるとともに、新たな才能が芽生え交流の場となることと期待しております。県民、町民の皆様の日々の生活に彩りとなり、心が豊かになる文化芸術の力を存分に感じていただければ幸いです。

結びに、この度の芸術祭の開催にあたりましてご尽力いただいた山形県、山形県芸術文化協会、庄内町芸術文化協会をはじめ、多くの関係者の皆さまに深く感謝申し上げますとともに、山形県民芸術祭、庄内町芸術祭が多くの皆様の心に残る素晴らしいものとなることを心より願ひまして、開催地からのご挨拶いたします。



山形県芸術文化協会会長
鈴木義孝

本県における芸術文化活動の祭典である第63回県民芸術祭の開幕式典並びに開幕記念公演をここ庄内町文化創造館響ホールにおいて開催できることを嬉しく思います。

県民芸術祭では毎年9月から翌年1月まで、多彩な公演や展示会が県内各地で開催されます。県民のみなさんには各地で開催される多様な催し物をぜひご覧いただきたいと思います。

芸術文化活動は、伝統的なものを受け継ぎ、磨き、次世代へ継承するとともに、新たな芸術文化を創造し発信することも大事なことです。そのためにも、次世代を担う子供たちの育成は重要です。

現在、中学校の部活動を学校から地域に移行する取り組みが進んでいます。このことは後継者育成の好機であると捉えています。これまでは、小学生まで育ててきた活動を、中学生になると部活動のため辞めざるをえないということがありました。これからは、継続して活動できるようになります。次世代を担う子供たちが多彩な芸術文化活動ができるよう、私たちも積極的に協力していきたいと思ひます。

本日の県民芸術祭の開幕公演では、庄内町芸術祭実行委員会のみなさんにより、『『天つ風』龍神伝説へのいざない』のテーマのもと、先人が遺した伝統を世代間で共有し、新しい文化として継承しようとする、多彩な芸術文化活動の発表がなされると伺っております。ぜひ県内各地で芸術文化活動されている仲間と一緒に楽しませていただきたいと思います。

最後に、ご支援いただいております山形県、山形県生涯学習文化財団、そして地元、庄内町教育委員会、庄内町芸術文化協会に、心から感謝申し上げます。



庄内町芸術祭実行委員会
実行委員長
大瀧日登美

今年度庄内地区が「第63回山形県民芸術祭開幕記念式典・記念公演」開催地の当番となり、庄内町でお引き受けすることとなりました。引き受けることを決断したきっかけは、6年前に発生した新型コロナウイルスです。コロナの影響で芸術文化協会加盟団体が激減してしまいましたが、この大きな開催を機にこの状況を何とか乗り越え、以前のように芸術文化の活気を取り戻したいと感じたところです。こうして開催できることに心から感謝申し上げますとともに、参加者全員、そしてご来場下さったすべての皆様に感動を与えられ、楽しんで頂けるよう努めたいと思います。

今年は、旧立川町と旧余目町が合併し20周年、また庄内町民俗芸能保存伝承協議会も設立20周年と、ダブルでめでたき節目の年を迎えました。感慨深い年となりそうです。昨年大雨で断念されました友好町の南三陸町文化協会の皆様もお祝いにかけつけていらっやいます。嬉しい限りです。

芸術祭のテーマは、「「天つ風」龍神伝説へのいざない」です。蘇りを司る月山の風を受け、先人が遺した伝統を世代間で共有し、新しい文化として継承していこうという意味がございます。芸術文化に携わっている私たちが、子どもたちに大切に伝承していきたいと思っております。開幕記念事業の会場では、花の装飾、押し花などの展示のほか、昨年好評だった筆の体験コーナーを開催致します。お子様から大人まで気軽に触れてみて下さい。お車でご越しの際、混雑も予想されますので、無料シャトルバスの運行も致します。芸術文化を堪能して頂き、思い出に残る1ページとなるよう、出演者一同頑張ります。

結びに、今回開催の為にご尽力いただきました県事務局の皆様、影となり支えて頂きました皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に深く感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

庄内町合併20周年記念事業 第63回 山形県民芸術祭 第21回 庄内町芸術祭 開幕記念式典

令和7年 9月7日(日) 10:00～(開場 9:30)

記念式典 10:00～10:30 (30分)

司会:佐藤暁子(フリーアナウンサー)

オープニング「天つ風」の舞踊及び和歌の朗詠

庄内町詩吟愛好会 相馬角洲・紅星華

記念式典次第 ① 開会宣言

② 独 唱 山形県民の歌『最上川』

佐藤 千紘(昭和音楽大学音楽学部音楽芸術表現学科声楽コース卒)

③ 開会の辞 小松 貞逞(庄内町芸術祭実行委員会副実行委員長)

④ 主催者挨拶 吉村美栄子(山形県知事)

鈴木 義孝(山形県芸術文化協会会長)

⑤ 歓迎の挨拶 富樫 透(庄内町長)

大瀧日登美(庄内町芸術祭実行委員会実行委員長)

⑥ 登壇者紹介 主 催 吉村美栄子(山形県知事)

若松 正俊(公益財団法人山形県生涯学習文化財団理事長)

鈴木 義孝(山形県芸術文化協会会長)

富樫 透(庄内町長)

大瀧日登美(庄内町芸術祭実行委員会実行委員長)

来 賓 田澤 伸一 様(山形県議会議長)

石川 保 様(庄内町議会議長)

佐々木仁一 様(南三陸町文化協会会長)

齊藤 薫 様(余目ロータリークラブ会長)

佐藤潤一郎 様(余目ライオンズクラブ会長)

東山 昭子 様(前 鶴岡市芸術文化協会会長)

⑦ 閉 会 土門 敦(庄内町芸術祭実行委員会副実行委員長)

(敬称略)



「^{あま}天^{かぜ}つ風」 龍神伝説へのいざない

令和7年 9月7日(日) 10:30～

《演出・構成》佐藤あゆ子 《スタッフ》舞台スタッフ 庄内町芸術祭実行委員会・響ホール
舞台美術 亀井淳

作品紹介

私達は、出羽三山や出羽富士、河川と田んぼを心の風景に暮らしを育んでいます。そしていつの世も自然の恩恵にあやかり、時に災害と向き合い、近隣の地域と手を取り合いながら、また神仏に祈りを捧げつつ、歴史と文化を築いてきました。今生きる表現者達は、その芸術を以てこの町の風土を紡ぎ、文化に彩りを添え続けて参りました。

『「天つ風」龍神伝説へのいざない』のメインテーマのもと、歌あり踊りあり演劇ありの、24団体と個人の総勢300名、子どもから熟年者まで幅広い皆さんが出演します。庄内町の風土、修練、表現力と創造力が詰まった総合舞台、どうぞお楽しみください。

1部 10:30～11:45 庄内町民俗芸能保存伝承協議会設立20周年記念公演 芸術文化を通じた交流の場を寿ぎ、共に喜ぶ 歓迎 庄内町友好町・南三陸町の皆さん

《出演》 ●庄内町民俗芸能保存伝承協議会設立20周年記念 特別出演
四ヶ村獅子保存会・跡神楽保存会
●宮城県南三陸町文化協会
翔乃流桜会、藤扇流淳裕会、しづがわ民話の会

2部 13:30～15:00 山々を望む花達、人々、守り神 線路は続いて111年 空と川の物語 心に夢を ふるさとの大地 フィナーレ：龍と共に未来へ

《出演》

●庄内町出演者

庄内町詩吟愛好会、庄内町短歌会、ひとみ会、混声合唱団コーラス・ポレポレ、コーラスひまわり、
庄内ひびき合唱団アルエット、混声合唱団コーラス庄内、オカリーナひびき、余目吹奏楽愛好会、泉会、
山形県民踊協会余目スポーツ民踊愛好会、閑会余目支部、紅星華、劇団響、ぶちキッズモダンバレエサークル
(以上、庄内町芸術文化協会加盟団体)
オカリナアンサンブル グレーニア、秋庭透、喜右エ門バンド、CANDY

9月 響ホール



押し花絵創作展

9/7(日)9:30～
9/13(土)15:00
町民ギャラリー



あまるめ写楽会 写真展

9/7(日)9:00～9/14(日)17:00
コンコース



令和7年度県民芸術祭参加事業

庄内総合高校音楽部 第27回定期演奏会

9/13(土)14:00～15:00 小ホール



庄内町立余目中学校吹奏楽部 第23回定期演奏会

9/14(日)16:00 大ホール

10月 響ホール



令和7年度県民芸術祭参加事業

第35回庄内水彩展

10/1(水)10:00～10/7(火)15:00
町民ギャラリー



大日本茶道学会余目支部茶会

10/5(日)10:00～15:00
小ホール



合同いけばな展

10/12(日)9:30～10/13(月・祝)16:00
小ホール



令和7年度県民芸術祭参加事業

第35回フォトサークルかたくり写真展

10/12(日)9:00～10/19(日)15:00
町民ギャラリー

11月 響ホール



第18回ぶちキッズ モダンダンス発表会

11/9(日)14:30～16:00
大ホール



令和7年度県民芸術祭参加事業

余目吹奏楽愛好会ファミリーコンサート

11/16(日)14:00～16:00 大ホール



令和7年度県民芸術祭参加事業

第2回庄内町芸術文化協会合同発表会

展示-11/23(日)9:00～11/30(日)15:30
発表-11/30(日)13:00～15:30
大ホール・町民ギャラリー

狩川まちづくりセンター



第21回観世流・宝生流謡曲大会

11/1(土)10:00～17:00
狩川まちづくりセンター(旧コミセン)



日本九重流詩吟庄内町詩吟愛好会吟詠大会

11/29(土)13:30～16:00
狩川まちづくりセンター(旧コミセン)

庄内町民俗芸能
保存伝承協議会
設立20周年記念公演



四ヶ村獅子踊

この獅子踊は、南興屋、中野、南野新田、主殿新田の四つの集落によって伝承されてきた民俗芸能で、四ヶ村獅子と呼ばれている。毎年8月15日の南野新田八幡神社例祭において上演され、4つの集落を巡回する。その起源や伝来経路も諸説があり定かではないが、余目地域に現在も伝わる六つの獅子郷のうち、古閑、余目新田、西袋及び吉岡の獅子踊は、四ヶ村が最初に伝授したもので親獅子、子獅子の関係にある。



あと
跡神楽

室町時代、安保家の武運長久を祈願して家臣に伝授され、安保家崇敬の天満神社に伝わるとされているが、くわしくは不明である。演目は、当初の巫女舞、獅子舞、剣の舞に加え、明治19年、20年に茗荷瀬より他の演目(鍛冶舞、雑魚鞠舞、鳥刺舞)を取り入れている。毎年4月25日の天満神社例祭にて上演される。

箏を体験してみよう

9/7(日)11:30~13:30

響ホール(コンコース)

美しい響きが特徴的な日本の伝統楽器「箏」に触れ、演奏を体験できます。

対象:どなたでも(無料) 主催:ひとみ会



同時開催事業

なんでろ市 in 庄内町芸術祭

9/7(日)10:00~15:00 響ホール(正面入口)

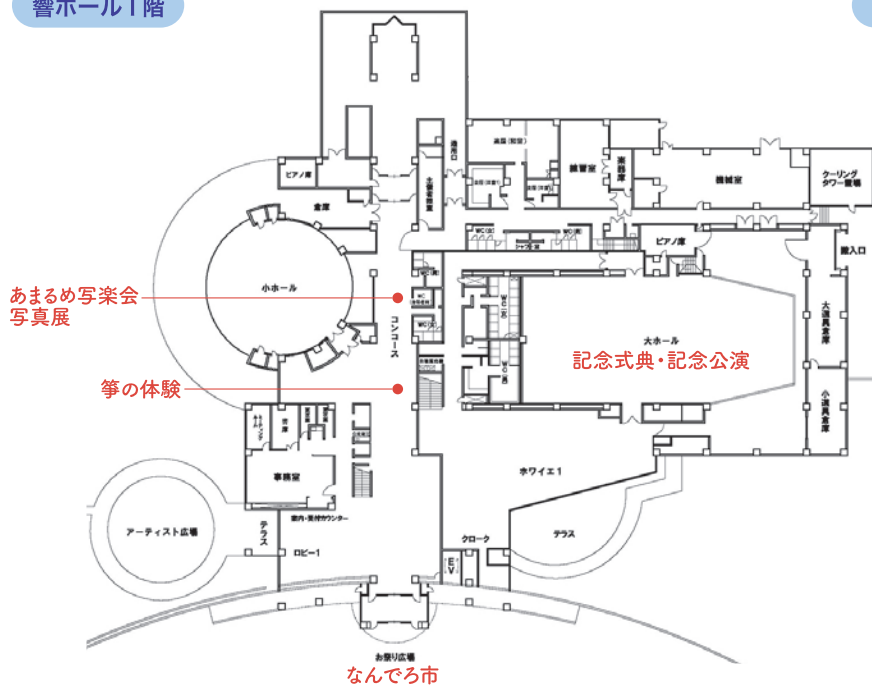
グルメに小物・アクセサリなど、約50店舗が響ホールに勢ぞろいします。芸術祭とあわせてぜひお楽しみください。

出店者、お問い合わせは
Instagramから⇒

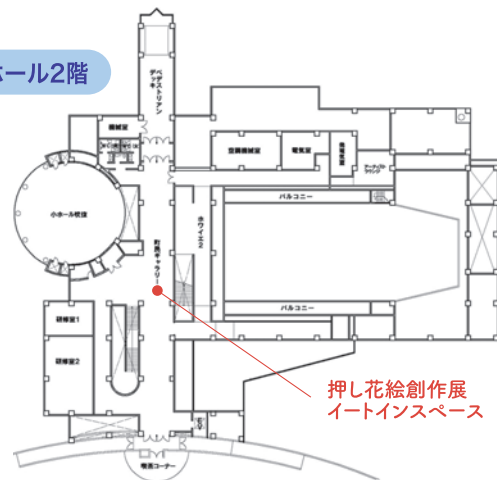


開幕記念事業 会場のご案内

響ホール1階



響ホール2階



無料シャトルバス時刻表

本庁舎⇒響ホール(行き)		響ホール⇒本庁舎(帰り)	
9時	30	9時	
10時	00, 30	10時	
11時	00, 30	11時	15, 45
12時	00, 30	12時	15, 45
13時	00, 30	13時	15, 45
14時	00, 30	14時	15, 45
15時		15時	15, 45
16時		16時	15



お問い合わせ先:

庄内町芸術祭実行委員会事務局(庄内町教育委員会社会教育課内)

tel.0234-43-0194 山形県東田川郡庄内町余目字町132-1

<https://www.town.shonai.lg.jp/kanko/events/geijutusai>

臨時駐車場:庄内町役場本庁舎駐車場・第二駐車場
会場までの無料シャトルバスを運行しますのでご利用ください。